



日本語ユーザーマニュアル



strymon®

各部の名称と働き	3
フロントパネル・コントロール	3
オンボードタップ・モード	5
リアパネルI/O & コントロール	6
モノ&ステレオI/Oケーブルの接続	6
ライブエディット機能	9
プリアンプ・セレクト	9
プリアンプ・ブースト	10
パワーアップ・モード	11
Mono I/Oのバイパスモード	11
スピルオーバー・モード	12
ドライシグナル	13
LEDの輝度設定	14
EXP/MIDI ジャックの設定	15
外部コントロール	17
ディレイタイムをMIDIクロックに同期する	17
エクスプレッションペダルの設定	18
フェイバリットスイッチの設定とコンペアモード	19
タップ&インフィニティ・モードとジャンバースイッチの設定	21
外部タップモードのスイッチ設定	22
インフィニティ・モードのスイッチ設定	23
EC-1をMultiSwitch PLUS用に設定する	24
MultiSwitch PLUSをEC-1用に設定する	25
プリセットモードでMultiSwitch PLUSを使用する場合	26
MultiSwitch PLUSを使用してEC-1のプリセットを保存する場合	26
カスタムモードでMultiSwitch PLUSを使用する場合	27
MultiSwitch Plusを使用してEC-1のお気に入りプリセットを保存する場合	27
MIDI機能	28
MIDIを使用するための設定	28
MIDI モードでプリセットを保存する	33
MIDI スペシフィケーション	34
MIDI プログラムチェンジ	34
MIDI コンティニュー・コントロール	35
ファクトリーリセット	36
ファクトリーデフォルト・セッティング	37
主な特徴	38
スペシフィケーション	39
電源アダプター規格	39
Appendix 1:サンプルセッティング	40
Appendix 2:パワーアップモード クイックリファレンス	42
Appendix 3:ライブエディット機能 クイックリファレンス	45
品質保証に関して	47

## 各部の名称と働き

### フロントパネル・コントロール

#### REC LEVEL

3ポジションのトグルスイッチで、仮想「録音ヘッド」に送られる信号のアナログゲインを選択し、オプションでエコー・マシンをより強くドライブしてリピートのサチュレーションを高めることができます。

**low**：（左の位置）ユニティーゲイン、最適化されたバイアスで最もクリーンなリピートが得られます。

**med**：（中間位置）6dB 入力信号をブーストし、わずかにサチュレートしたリピート音が得られるようにバイアスを増加します。

**high**：（右の位置）12dB 入力信号をブーストし、深くサチュレートしたリピート音が得られるようにバイアスを増加します。

#### TIME

ディレイ・タイム（録音ヘッドを再生ヘッドに近づけたり遠ざけたりする仮想的な設定）を50ミリ秒から1秒のレンジでコントロールします。スライディング・レコード・ヘッドによるテープ・エコーの複雑さが忠実に再現されているため、リピート中にこのコントロールを調整すると、興味深いテープエコーの効果が生まれます。

#### TAPE AGE

物理的なテープディレイマシンで、時間の経過とともに起こるテープ劣化と同じように、テープの周波数帯域幅を制御します。通常のテープは磨耗すると帯域幅が制限されます。TAPE AGEコントロールは、この摩耗した状態を再現します。最小に設定すると、新鮮な全帯域テープになります。ノブを時計回りに回すと、高い周波数レンジが低下します。

#### REPEATS

ディレイの繰り返し回数を1回から発振まで変化させます。  
※3時方向に設定すると、発振することなく無限に繰り返されます。



**NOTE**：発振の暴走はすぐに音量が大きくなります！ディレイ・タイムが短く、リピートが高い設定は、発振の暴走を引き起こす可能性があるので避けてください。

## ノブとスイッチ

### フロントパネル・コントロール

#### LEDインジケーター

エフェクトがオンの状態では、ディレイタイムのテンポに合わせて**レッド**に点滅します。フットスイッチでエフェクトをオン/オフを切り替えます。また、ライブエディットやパワーアップモード機能を設定すると、さらに別の色に点灯または点滅します。（[9ページ](#)をご覧ください。）



#### MIX

ドライ信号とウェット信号のバランスを、最小100%ドライから最大100%ウェットまでコントロールします。ミックスはすべてアナログで行われます。50/50ミックスは3時の位置です。（ドライ信号の選択については[13ページ](#)をご覧ください。）

#### MECHANICS

摩擦、折り目、スプライス、汚れなど、機械的な速度変動やメディアの不規則性の量を制御します。新鮮でクリーンな記録メディアの場合は最小に設定します。修理が必要な記録メディアの場合は最大に設定します。

#### FOOTSWITCH

エフェクトをオン/オフします。エフェクトがオンになると、ペダル上部のLEDは、**レッド**に点灯します。

**フットスイッチを1秒間長押し**すると、次ページで説明するタップ・モードを「開始/終了」します。

**フットスイッチを2秒間長押し**すると、Saveモード（[33ページ](#)をご覧ください）に入り、エクスプレッションペダルのパラメーター割り当てを設定することができます（[18ページ](#)をご覧ください）。

**NOTE :** このLEDの動作は、ペダルがオンボード TAP モードではない場合に適用されます。  
([5ページ](#)をご覧ください。)

## 各部の名称と働き

### オンボードタップ・モード

フットスイッチを1秒間長押ししてオンボード タップ・モードを「開始/終了」し (LED がブルーに点滅してタップ・モードを示します)、4分音符でタップしてディレイ・タイムを設定します。 \* LEDが点滅してテンポを示します。最大タップ範囲は1秒です。

タップモードのとき、TIMEノブはタップ分割 (TAP DIVISION) を設定します。  
TIMEノブのTAP DIVISIONオプションは、最小値から最大値まで次の図とおりです。



**NOTE :** オプションで外部フットスイッチを外部タップ、お気に入り、またはインフィニティ（無限モード）機能に設定できます。（[22ページ](#)をご覧ください。）

外部タップ・モードスイッチを使用する場合、オンボードタップ・モードで上記の手順に従って、TAP DIVISION オプションが設定できます。現在のTAP DIVISION 設定はオンボードタップと外部タップの両方に使用できます。

## リアパネル I/O & コントロール

### I/O モードセレクター

**Mono**: (左の位置) ギターなどのモノラル入力信号に使用します。

出力はモノラル、デフォルトはトゥルー・バイパスです。

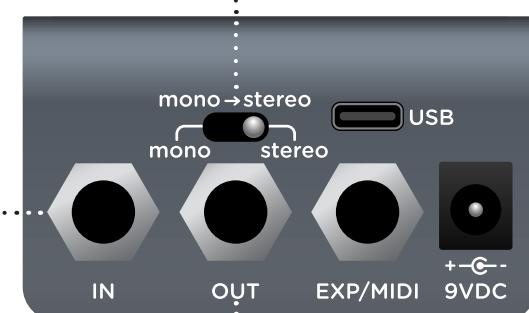
**mono → stereo**: (センター位置) モノラル入力信号に使用します。

出力はステレオ、バイパスモードはバッファード・バイパスです。

**Stereo**: (右の位置) ステレオ入力信号で使用します。出力はステレオ、バイパスモードはバッファード・バイパスです。

ステレオ I/O には、TRSアダプターまたはケーブルが必要です。

(次の例を参照してください。)

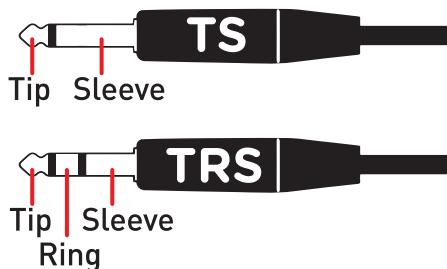


**IN** ..... **OUT**  
ハイ・インピーダンス、超低ノイズ、ディスクリートクラスA JFET TRSステレオプリアンプ。

ロー・インピーダンスTRSステレオ出力。  
(TRSジャック)

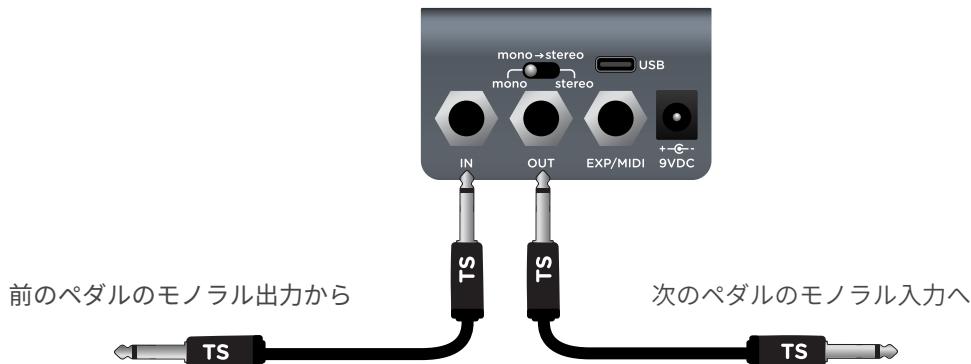
### モノ&ステレオI/Oケーブルの接続

本機の**In & Out**ジャックは、TSまたはTRSタイプの1/4“フォーンケーブルでモノまたは、ステレオ接続します。



**NOTE :** TRSステレオ接続の場合、左信号はTip、右信号はRingを通過します。

**Mono In - Mono Out :** 本機をモノ信号チェーンに接続するには、INとOUTの両方にTSケーブルを使用します。 I/Oセレクタースイッチの設定はモノにします。



**Mono In - Stereo Out :** 本機にモノ信号を入力するにはTSケーブルを使用し、INに接続します。 TRS + デュアルTS ケーブルをOUTに接続し、ステレオ信号をステレオペダルにルーティングします。 I/Oの設定はセレクタースイッチでモノ→ステレオにします。



**Stereo In - Stereo Out :** 本機をステレオ信号チェーンに接続するには、INとOUTの両方にTRS + デュアルTSケーブルを使用します。 セレクタースイッチをステレオにしてI/Oを設定します。



**NOTE :** TRS - TRSケーブルを使用してペダルを接続することもできます。 (cloudburstのTRSステレオ入力に接続する場合など)

## リアパネル I/O & コントロール

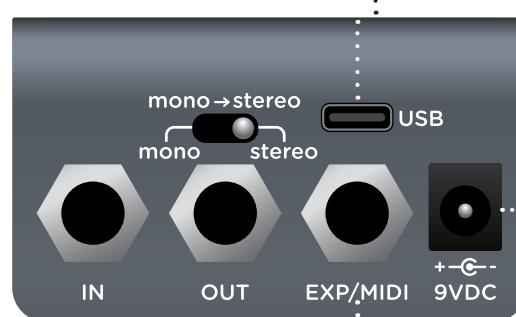
### USB-C

MIDI I/Oとファームウェアの更新に使用するコンピューター用接続ジャックです。

### 9VDC/DC9V

以下の仕様アダプターのみを使用してください。

- 2.1mm、センターマイナス
  - 9VDC
  - 最小250mA
- (アダプターは別売りです。)



### EXP/MIDI

本機の外部コントロール用の多機能コミュニケーションジャックです。以下のいずれかのモードで動作するように設定できます。（詳しくは[15ページ](#)「EXP/MIDIジャックの設定」をご覧ください。）

- エクスプレッションペダルモード（[18ページ](#)をご覧ください。）
- フェイバリットモード（[19ページ](#)をご覧ください。）
- タップモード（[21ページ](#)をご覧ください。）
- インフィニティ・モード（[21ページ](#)をご覧ください。）
- MIDIモード（[24ページ](#)の「MultiSwitch Plusの設定」または、[33ページ](#)の「MIDIモードでプリセットを保存する。」をご覧ください。）

## ライブエディット機能

EC-1 の「Live Edit mode/ ライブエディットモード」のセカンダリー機能にアクセスするには、以下の手順で行います。

### プリアンプ・セレクト

本機にはオプションでプリアンプ・モデルが用意されており、初期のテープ・マシンの真空管プリアンプのサウンド特性を、ドライ信号と EC-1 で処理された信号の両方に適用することができます\*。

**NOTE :** このプリアンプは本機のREC LEVEL機能には影響しません。

- ① フットスイッチを押したまま 1 秒以内に REPEATS (PREAMP SELECT) ノブを回し、好みのプリアンプ・オプションを選択します。(REPEATS ノブを回さずにフットスイッチを 1 秒以上押し続けると、本機は TAP モードに入ります)。
  - プリアンプ・オフ: **レッド** - プリアンプをバイパス。
  - モッド真空管プリアンプ: **アンバー** - (デフォルト) 真空管プリアンプをよりバランスの取れた周波数特性にモッド。
  - オリジナル・チューブ・プリアンプ: **グリーン** - 高域が強調された真空管プリアンプ。



- ② 選択したら ON フットスイッチを離し、プリアンプ・セレクト設定を終了して保存します。

**TIP :** 真空管プリアンプにはプリアンプ・ブーストオプションがあります。 [次ページ](#)をご覧ください。

**NOTE :** プリアンプ選択設定は、フェイバリット設定またはMIDIプリセットごとに保存されます。

\***NOTE :** Digital Mode/デジタルモードに設定した場合は、ドライ信号に適用されます。 [13ページ](#)をご覧ください。

## ライブエディット機能

### プリアンプ・ブースト

Live Edit – プリアンプ・セレクトでモッド真空管プリアンプ、またはオリジナル・チューブ・プリアンプ（[前ページ](#)参照）に設定した場合、この機能でプリアンプのボリューム・ブーストが設定できます。

- 1 フットスイッチを押したまま 1 秒以内に **MIX (PREAMP BOOST)** ノブを回すと、ブーストレベルを最小の 0dB（初期設定はユニティゲイン）から最大の +6dB までスムーズに変更できます。（**MIX** ノブを回さずにフットスイッチを 1 秒以上押し続けると、本機は **TAP モード**に入ります）。



- 2 設定が完了したら **ON** フットスイッチを離し、プリアンプ・ブースト設定を終了して保存します。

**NOTE :** プリアンプ・ブースト設定は、フェイバリット設定、またはMIDIプリセットごとに保存されます。

## パワーアップ・モード

### Mono I/O のバイパスモード

背面のI/Oモードセレクターをモノラルに設定すると、本機はデフォルトのトゥルー・バイパスに設定されます。\* バッファード・バイパスモードに設定すると、ペダルチェーンや長いケーブルでの接続でも高域特性が損なわれません。

**NOTE :** 背面のI/Oモードセレクターがモノ→ステレオまたはステレオの場合、バイパスモードは自動的にバッファード・バイパスに設定されます。

- 1 フットスイッチを2秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。LEDが**レッド**に点滅したら、フットスイッチを離します。



- 2 REC LEVEL (**BYPASS MODE**) スイッチを切り替えて、トゥルーまたはバッファードバイパスモードを選択します。スイッチを切り替えるとLEDの色が変わり、現状を表示します。

- トゥルーバイパス：スイッチを **low** (左) または **med** (中央) の位置に設定します。LEDは**グリーン**に点灯します (デフォルト)。
- バッファーバイパス：スイッチを **high** (右) の位置に設定します。LEDは**レッド**に点灯します。

- 3 フットスイッチを押してバイパスモードを保存し、本機の使用を開始します。

**NOTE :** バイパスモードの設定は、電源を入れ直しても維持されます。

## パワーアップ・モード

### スピルオーバー・モード

本機をスピルオーバー・モードに設定すると、現在選択されているプリセットのウェット・ディレイ信号がバイパスに「スピル（溢れる）」されます。または、プリセットの切り替えに Multiswitch Plus または MIDI を使用している場合は、次にロードされたプリセットに「スピル」されます。

**NOTE :** バッファーアーキテクチャーのため、プリセット間のスピルオーバーが動作する前に、現プリセットが少なくとも5秒間アクティブでなければ実行されません。エフェクトをバイパスすると、スピルオーバーはすぐに実行されます。

- ① フットスイッチを2秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。LED が**レッド**に点滅したら、フットスイッチを離します。



- ② **MECHANICS (SPILLOVER MODE)** ノブを回して、スピルオーバー・モードのオン / オフを切り替えます。ノブを回すと LED の色が変わり、現態を表示します。
  - スピルオーバー・モード オフ : **アンバー** (デフォルト、最小位置)
  - スピルオーバー・モード オン : **パープル** (最大位置)

**NOTE :** スピルオーバーがオンに設定されている場合、バイパスモードはバッファードバイパスに設定されます。

- ③ フットスイッチを押してスピルオーバーモード設定を保存し、本機の使用を開始します。

**NOTE :** スピルオーバーモードの設定は電源を入れ直しても維持されますが、プリセット毎には保存されません。

## パワーアップ・モード

### ドライシグナル

ドライ信号は3つの異なる方法が設定できます。

- **Digital Mode**（デジタルモード）では、変換されたドライ信号を使用します。MIXノブを3時の位置を超えた時点でドライ信号を取り除くことができます。スピルオーバー・モード オン：パープル（最大位置）
- **Analog Mode**（アナログモード）では、ドライ信号をアナログのまま保持します。\*
- **Kill Dry Mode**（キルドライモード）はアナログドライパス信号をミュートし、MIXノブは「ウェット（エフェクト音）」の出力レベルを厳密にコントロールできるようにします。この設定は、アンプのパラレルエフェクトループやミキサーのAUX、またはエフェクトセンド内で本機を使用する場合に適しています。

**NOTE :** オプションのライブエディット - プリセット・セレクト機能（[9ページ](#)をご覧ください）を有効にすると、アナログ・モードのドライ信号には適用されません。

- ① フットスイッチを2秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。LEDが**レッド**に点滅したら、フットスイッチを離します。



- ② REPEATS (DRY SIGNAL)ノブを回して、3つのドライ信号オプションから1つを選択します。ノブを回すとLEDの色が変わり、現在の状態を示します。

- **Digital Mode**（デジタルモード）：**グリーン**（デフォルト、最小位置）
- **Analog Mode**（アナログモード）：**レッド**（12時の位置）
- **Kill Dry Mode**（キルドライモード）：**ブルー**（最大位置）

- ③ フットスイッチを押してドライシグナル設定を保存し、本機の使用を開始します。

**NOTE :** ドライ信号設定は電源を入れ直しても維持されますが、プリセットごとに保存されません。

## LED 輝度設定

LED の明るさを調整して、どんな場所や照明条件でも見やすくすることができます。

- ① フットスイッチを 2 秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。LED が **レッド** に点滅したら、フットスイッチを離します。



- ② もう一度フットスイッチを押したまま、**MECHANICS (LED BRIGHTNESS)** ノブを回して、LED の明るさを低から高 (デフォルト) まで調整します。調整が完了したら、フットスイッチを離します。
- ③ フットスイッチを押して LED 輝度設定を保存し、本機の使用を開始します。

**NOTE :** LED 輝度設定は電源を入れ直しても維持されますが、プリセットごとに保存されません。

## パワーアップ・モード

### EXP/MIDI ジャックの設定

- ① フットスイッチを 2 秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。LED が **レッド** に点滅したら、フットスイッチを離します。



- ② MIX (EXP/MIDI JACK) ノブを回して、リアパネルの EXP/MIDI ジャックの機能を選択します。ノブを回すと LED の色が変わり、現在の状態を表示します。
- **Expression Pedal Mode** (エクスプレッション・ペダル・モード) : **グリーン** (デフォルト、最小位置) - 標準的な TRS エクスプレッション・ペダルを使用し、どのノブも連続的にコントロールできます。(詳細は [18 ページ](#)をご覧ください)
  - **Favorite Mode** (フェイバリット・モード) : **アンバー** (11 時の位置) - Strymon MiniSwitch を使用して、お気に入りの設定を呼び出すことができます。(詳細は [19 ページ](#)をご覧ください)
  - **Tap Mode** (タップ・モード) : **レッド** (12 時の位置) - Strymon MiniSwitch を使用すると、ディレイのリピートに合わせて 4 分音符でテンポをタップ入力できます。(ノート分割オプションについては、[4 ページ](#)のフットスイッチの説明を参照してください。) さらに、タップモードに設定されている場合、外部スイッチを押し続けると、無限ディレイ・リピートが実行されます。
  - **Infinite Mode** (インフィニティ・モード) : **パープル** (2 時の位置) - Strymon MiniSwitch を使用すると、スイッチを押したまま入力信号を無限にディレイ・リピートすることができます。これは基本的に **REPEATS** ノブを最大まで回すと同じです。(設定の詳細については、[21 ページ](#)をご覧ください。)

## EXP/MIDI ジャックの設定（続き）

- **MIDI Mode (MIDI モード) :** ブルー - Strymon MultiSwitch Plus や外部の MIDI コントローラーが使用できます。
- **MultiSwitch PLUS** - MultiSwitch Plus デバイスは、プリセットモードで 3 つのプリセットにアクセスすることができます。CUSTOM モードではスイッチを使用して、タップ、フェイバリット、およびインフィニティをコントロールすることができます。（詳細は、[24 ページ](#)の「MultiSwitch PLUS 用に設定する」をご覧ください。）
- **MIDI** - MIDI モードでは Strymon Conduit または MIDI EXP ケーブルで 1/4 インチの TRS MIDI 接続が可能です。MIDI プログラムチェンジメッセージを送信し、MIDI 機能が利用できます。最大 300 のプリセットが MIDI 経由で使用できます。（詳細は、[33 ページ](#)の「MIDI モードでプリセットを保存する」をご覧ください。）



③ フットスイッチを踏んで EXP/MIDI ジャックモードを保存し、本機の使用を開始します。

**NOTE :** EXP/MIDI ジャックの設定はプリセット毎には保存されません。電源を入れ直しても設定は維持されます。

## 外部コントロール

### ディレイタイムを MIDI クロックに同期する

MIDIモードに設定すると、本機はEXP/MIDIジャック経由で受信したMIDIクロックに自動的に応答し、本機のディレイ・タイムを受信MIDIクロックのBPMに同期させることができます。

**NOTE :** MIDI クロックのタップ分割は、オンボード・タップ・モードの設定に従います：8分3連符、8分音符、付点8分音符、4分音符。5ページの「Onboard Tap Mode/オンボード タップ・モード」をご覧ください。

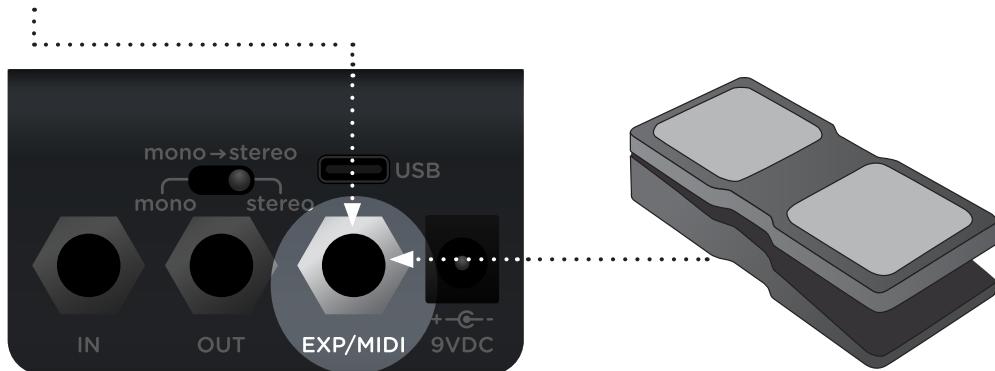
**NOTE :** MIDI OUTがTHRUに設定されている場合は、受信したMIDIクロックは 本機のMIDIアウトにも送信されます。[32ページ](#)をご覧ください。

## 外部コントロール

### エクスプレッションペダルのセットアップ

TRS エクスプレッションペダルを使用し、本機のノブをリモートコントロールできます。デフォルト設定では、エクスプレッションペダルで **MIX** ノブがコントロールできるように設定されています。

- ① EXP/MIDI ジャックを Expression Mode に設定します。(設定の手順は [15 ページ](#)をご覧ください。)
- ② TRS ケーブルを使用して、エクスプレッションペダルを EXP/MIDI ジャックに接続します。



- ③ LED がグリーンに点滅するまで、フットスイッチを 3 秒以上長押しします。
- ④ エクスプレッションペダルをヒールの位置まで動かします。グリーン LED の点滅が止まり、点灯に変わります。
- ⑤ エクスプレッションペダルのヒールポジションでコントロールしたいノブ設定を行います。
- ⑥ エクスプレッションペダルをトウの位置に動かします。LED がレッドに変わります。
- ⑦ エクスプレッションペダルのトウポジションでコントロールしたいノブ設定を行います。
- ⑧ 本機のフットスイッチを押してエクスプレッションペダルの設定を保存して終了します。

**NOTE :** エクスプレッションペダル設定の割り当ては、フェイバリット & MIDI プリセットごとに保存されます。

**NOTE :** 本機がMIDIエクスプレッションに応答するように設定されており、EXP/MIDIジャックがMIDIモードに設定されている場合は、MIDI CC#100を送信して0（ヒール）～127（トウ）エクスプレッションペダルのセットアップが実行できます。

## 外部コントロール

### フェイバリットスイッチの設定とコンペアモード

フェイバリット設定を保存＆呼び出すために、MiniSwitchまたはその他の外部ラッチ式フットスイッチをTRSケーブルで接続します。

**NOTE :** strymon MiniSwitchの内部ジャンパーをファクトリー・デフォルトの**FAV/BOOST**モードにして使用します。この設定でのMiniSwitchの使用時は、**FAV/BOOST**モードに戻します。  
([21ページ](#)をご覧ください。)

- ① **EXP/MIDI** ジャックをフェイバリットモードに設定します。 (詳細は[15ページ](#)をご覧ください。)
- ② MiniSwitch (または外部ラッチ型スイッチ) をTRSケーブルで**EXP/MIDI**ジャックに接続します。



- ③ 好みのサウンドをダイヤルインします。
- ④ サウンドを新しいフェイバリット設定として保存するには、LEDが**グリーン**に点滅するまで少なくとも2秒間フットスイッチを押します。次に、フェイバリット設定を保存するためにLEDが**ブルー**に点灯するまでフットスイッチを押し続けます。外部フットスイッチを踏んで、現設定とフェイバリット設定を切り替えます。

## 外部コントロール

### フェイバリットスイッチセットアップ&コンペアモード（続き）

#### コンペア・モード

フェイバリットまたはMIDIプリセットが呼び出された状態で、ノブまたはスイッチと現在のノブまたはトグル位置が保存された設定と一致すると、LEDがグリーンに点滅します。

**NOTE:** パワーアップモードの設定は、グローバルに適用され、プリセット毎には保存されません。

**NOTE :** MIDIを使用する場合、プリセットの保存の動作は異なります。（詳しくは[33ページ](#)をご覧ください。）

**NOTE:** フェイバリット設定は、MIDIプログラムチェンジの「0」に保存されます。

## 外部コントロール

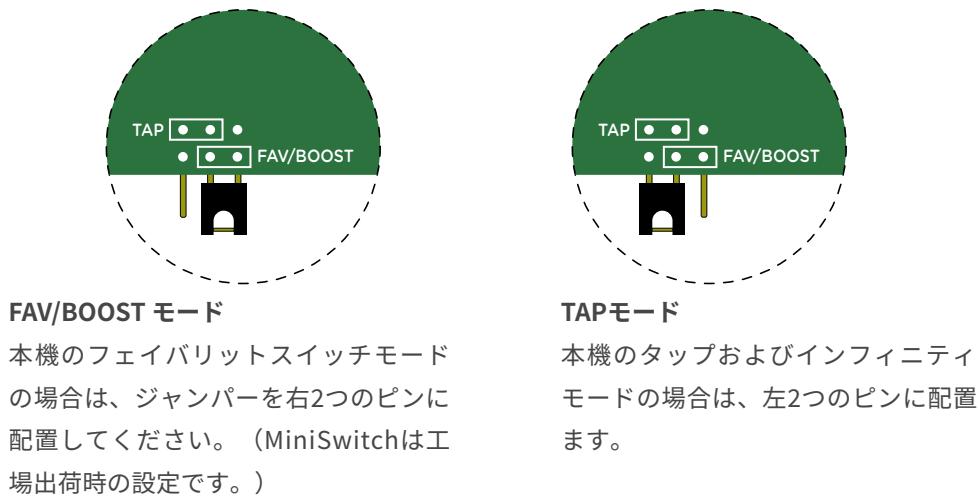
### タップおよびインフィニティ・モードスイッチの設定

Strymon MiniSwitchまたは外部のアンラッチ (モーメンタリー) タイプのスイッチを使用して、本機のタップテンポおよびインフィニティ（無限）モード機能にアクセスできます。

Strymon MiniSwitchには内部ジャンパースイッチが含まれており、Tap および Infiniteスイッチングで機能するには、工場出荷時の **FAV/BOOSTモード** 設定から変更する必要があります。MiniSwitchのジャンパースイッチを設定するには、次の手順に従います。

- ① MiniSwitchのシャーシ底部にある4本のネジを緩めます。
- ② ボトムシャーシを開いたら、基板の下にある小さなジャンパーを中央と右のピン (**FAV/BOOSTモード**) から中央と左のピン (**TAPモード**) に変更してください。

MiniSwitch 回路基板のジャンパースイッチの拡大図



- ③ ジャンパーの設定が完了したら、MiniSwitchのカバーをしっかりと取り付けてください。外部のフットスイッチを設定するには、以下のタップおよびインフィニティ・モードのセットアップをご覧ください。

## 外部コントロール

### 外部タップモードのスイッチ設定

MiniSwitchなどの外部モーメンタリーフットスイッチをTRSケーブルで接続し、ディレイ・タイムを調整します。(5ページのように、本機のフットスイッチをオンボード・タップ・モードに使用することもできます。)さらに、タップ・モードに設定した場合は、外部スイッチを長押しすると無限リピートが実行されます。

**NOTE :** 外部タップ モード機能を使用するには、Strymon MiniSwitch の内部ジャンパースイッチを工場出荷時の（デフォルト設定）FAV/BOOST から TAP 設定に変更する必要があります (21ページを参照)。

- ① EXP/MIDIジャックをタップモードに設定します。 (15ページをご覧ください)
- ② 外部スイッチをTRSケーブルでEXP/MIDIジャックに接続します。



- ③ 4分音符でテンポをタップし、ディレイ・タイムを設定します。EC-1ペダルのLEDが点滅してテンポを示します。タップ範囲は最長1秒。  
また、外部スイッチを長押しすると、無限にディレイを繰り返すことができます。

**NOTE :** 外部タップ・モードは、現TAP DIVISION設定を使用します。TAP DIVISIONの設定を変更するには、EC-1ペダルのFOOTSWITCHでオンボード・タップ・モードに移行し、オンボード・タップ・モードに入ります。5ページをご参照ください。

## 外部コントロール

### インフィニティ・モードのスイッチ設定

MiniSwitchまたは他の外部のモーメンタリーフットスイッチをTRSケーブルで接続すると、スイッチを押している間、無限のディレイを繰り返すことができます。

**NOTE :** Strymon MiniSwitchの内部ジャンパースイッチを、工場出荷時のFAV/BOOSTモードからTAPモード設定に変更し、無限モードスイッチを機能させます。  
詳細は[21ページ](#)をご覧ください。

- ① EXP/MIDIジャックをインフィニティ・モードに設定します。 ([15ページ](#)をご覧ください)
- ② 外部スイッチをTRSケーブルでEXP/MIDIジャックに接続します。



- ③ インフィニティ・モードを開始するには：ミニスイッチを押し続けるとインフィニットリピートモードになります。外部フットスイッチを離すとインフィニットモードが解除されます。

## 外部コントロール

### MultiSwitch PLUS 使用時の本機の設定

本機とMultiSwitch Plusのコンビネーションで、追加機能にアクセスできます。

- ① フットスイッチを2秒以上長押ししながら電源を接続します。  
LEDが**レッド**に点滅したらフットスイッチを離します。
- ② TIMEノブを反時計回りいっぱいに回して、**MIDIチャンネル**をチャンネル1に設定します。LEDは**グリーン**に点灯します。
- ③ TAPE AGEノブを回して、次の**MIDIオプション**から1つを選択します。
  - ・ MIDI CC、他のデータを送る：**グリーン**
  - ・ 他のデータを送る：**アンバー**
- ④ MIXノブを時計回りに回しきって、**EXP/MIDI**ジャックをMIDIモードに設定します。  
LEDは**ブルー**に点灯します。
- ⑤ 本機のフットスイッチを押して、設定を終了し保存します。

## MultiSwitch PLUS の設定

本機とMultiSwitch PLUSを使用する際は、プリセットを選択する**PRESETモード**と、TAP - FAVORITE - INFINITEをコントロールする**CUSTOMモード**のいずれかを選択します。

- 1 TRSケーブルを本機の**EXP/MIDI**ジャックに接続します。



- 2 プリセットモードの場合—MultiSwitch PLUSのAフットスイッチを押したままTRSケーブルのもう一方の端子を3つのジャックのいずれかに接続します。Aフットスイッチを離すと、MultiSwitch PLUSの全LEDがグリーンに点滅します。[26ページ](#)をご参照ください。



- カスタムモードの場合—MultiSwitch PLUSのCフットスイッチを押したままTRSケーブルのもう一方の端子を3つのジャックのいずれかに接続します。Cフットスイッチを離すと、MultiSwitch PLUSの全LEDがグリーンに点滅します。[27ページ](#)をご参照ください。

## 外部コントロール

### MultiSwitch PLUS をプリセットモードで使用する場合

EC-1とマルチスイッチ・プラスをプリセット・モードで使用する場合、3つのフットスイッチでプリセット1、2、3にアクセスできます。



**NOTE :** MultiSwitch Plusのフットスイッチ **A**、**B**、および **C** は、MIDI プログラムチェンジ1、2、および3に対応します。

- ① 点灯していないスイッチを踏むと、対応するプリセットが呼び出されます。
  - ② 点灯しているスイッチを踏むと本機はバイパスされます。
- MultiSwitch Plusで本機のプリセットを保存する**
- ① プリセットとして保存したいサウンドを本機にダイヤルします。
  - ② **FOOTSWITCH**を3秒以上長押しし、LEDが**グリーン**に点滅するまで押し続けます。
  - ③ MultiSwitch Plusの**A**、**B**、または**C**フットスイッチを押して、現在のペダルの設定を目的のスイッチへ保存します。

## カスタムモードで MultiSwitch PLUS を使用する

本機とMultiSwitch PLUSをカスタム・モードで使用する場合、3つのフットスイッチでタップ・テンポ、フェイバリット・プリセットの選択、インフィニット・リピートにアクセスできます。



- フットスイッチAをタップして、本機のリピートのTAP TEMPOレートを設定します。
- フットスイッチBを押して離すと、指定したフェイバリット・プリセットがロードされます（下記参照）。
- フットスイッチCを押し続けると、フットスイッチを押し続けている間、インフィニット・ディレイ・リピートが可能になります。

本機のお気に入り（フェイバリット）プリセットを保存する。

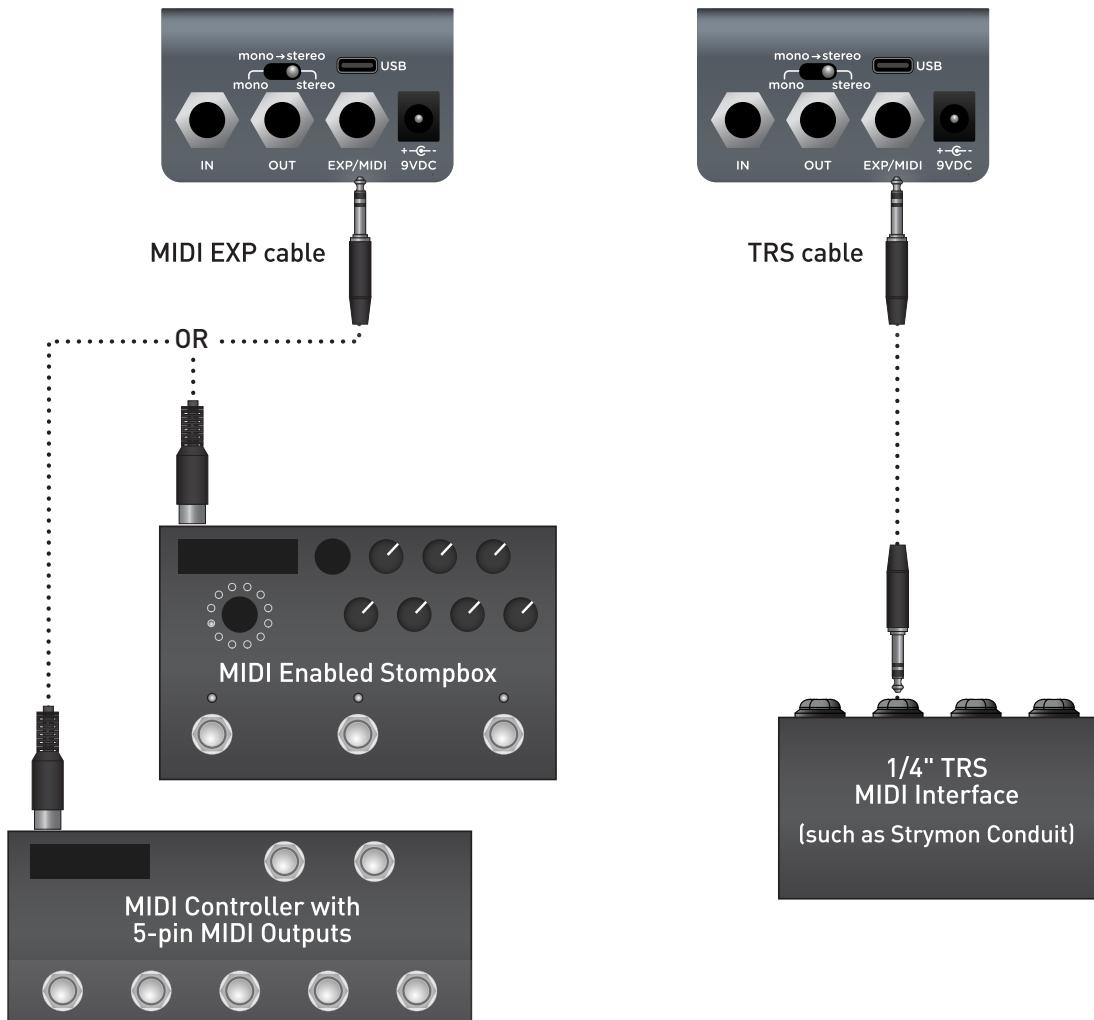
- ① お気に入りに保存したいサウンドをEC-1にダイヤルします。
- ② 本機のフットスイッチをLEDがグリーンに点滅するまで3秒間長押しし、フットスイッチを離します。
- ③ MultiSwitch PlusフットスイッチのBを押して離すと、ペダルの現在の状態がFavoriteプリセットとしてこの場所に保存されます。

## MIDI 機能

### MIDI を使用するための設定

本機のEXP/MIDIジャックに接続されたMIDIコントローラーやインターフェイスで、300のプリセット・ロケーションにプリセットをロードすることができます。これには、Strymon MIDI EXPケーブル、またはStrymon Conduitなどの1/4インチ以上の出力を持つMIDIコントローラー/インターフェースが必要です。

**NOTE :** Strymon MIDI EXP ケーブルを使用する場合は、MIDI OUTモードをオフに設定する必要があります。 (詳細は[32ページ](#)をご覧ください。)



## MIDI 機能

### MIDI を使用するための設定（続き）

#### ステップ1 – EXP/MIDIジャックをMIDIモードに設定する

- 1 フットスイッチを2秒以上押し続けながら電源を接続します。  
LEDがレッドに点滅したらフットスイッチを離します。



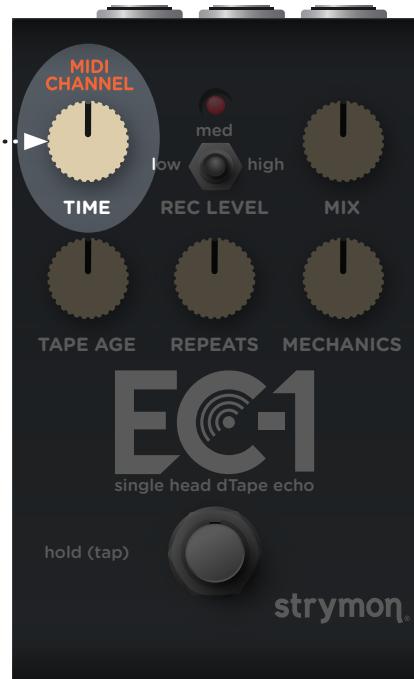
- 2 MIX (EXP/MIDI JACK) ノブをLEDがブルー（最大位置）になるまで時計回りに回して、MIDIモードを選択します。

NOTE : MIDIデータは、EXP/MIDIジャックのTRS接続のTIP（チップ）で受信されます。

## MIDI 機能

### MIDI を使用するための設定（続き）

#### ステップ2 – MIDIチャンネルの設定



③ TIME (MIDI CHANNEL) ノブを回して、MIDI通信チャンネルを設定します。

LEDはステータスを表示します。ノブの設定位置は次のとおりです。

- ・ チャンネル 1 : グリーン (デフォルト、最小位置)
- ・ チャンネル 2 : アンバー (10時の位置)
- ・ チャンネル 3 : レッド (12時の位置)
- ・ チャンネル 4-16 : ブルー (最大位置) - 次に受信したMIDI プログラムチェンジメッセージで設定します。1/4" MIDI接続が必要です。

LEDがブルーに点灯すると、ペダルがMIDIプログラムチェンジメッセージを受信するまで点滅します。メッセージを受信すると、ペダルはメッセージを送信したMIDIチャンネルに設定され、パワーアップ・モードを終了して本機が開始できるようになります。

(MIDIチャンネル4~16の設定に成功している場合は、次のページの項目④をスキップできます。)

## MIDI 機能

### MIDI を使用するための設定（続き）

#### ステップ2 – MIDIチャンネルの設定（続き）



- ④ フットスイッチを押して終了し、MIDIチャンネル設定を保存して本機の使用を開始します。

**NOTE :** 通信が機能しているかどうかを確認する簡単な方法は、フットスイッチがバイパスされているときに、CC #102に127を入力して送信することです。MIDIが正しく接続され、設定されていれば、フットスイッチが有効になります（LEDが**レッド**に点灯します）。

**NOTE :** Strymon MIDI EXPケーブルで本機にのみデータを送信する場合は、MIDI OUT Modeは**OFF**に設定します。（MIDI OUTモードの設定については[32ページ](#)をご参照ください）。

**NOTE :** MIDI チャンネルの割り当ては、フェイバリット設定またはMIDIプリセット毎には保存されません。

## MIDI 機能

### MIDI を使用するための設定（続き）

#### ステップ 3 – MIDI OUTモードの設定

- ① フットスイッチを2秒以上押し続けながら電源を接続します。  
LEDが**レッド**に点滅したらフットスイッチを離します。



- ② TAPE AGE (MIDI OUT) ノブを回して、本機から他のMIDIデバイスに送信するMIDIデータの種類を選択します。LEDが一瞬点滅します。
- OFF : **レッド** (デフォルト、最小位置) - 本機からMIDIメッセージは送信されません。
  - THRU : **ブルー** (11時の位置) - 受信したMIDIメッセージは、BRIGによって生成された追加のMIDIメッセージなしでMIDI OUTに送信（出力）されます。
  - SEND CC, OTHER : **グリーン** (1時の位置) - 本機によって生成されたMIDI CCおよびSysexメッセージがMIDI Outから送信（出力）されます。
  - SEND OTHER : **アンバー** (最大位置) - 本機によって生成されたSysexメッセージがMIDI Outから送信（出力）されます。

- ③ フットスイッチを押してMIDI OUTモードを保存し、終了します。

**NOTE :** MIDIデータは、EXP/MIDIジャックのTRS接続の**RING**から送信されます。

## MIDI 機能

### MIDI モードでプリセットを保存する

MIDIモードでは、現在の設定を本機の300のプリセットロケーションにいつでも保存することができます。

- ① フットスイッチを3秒以上長押ししてセーブモードに入ります。LEDはグリーンに点滅し、本機がMIDIプログラムチェンジメッセージを受信できる状態になります。



- ② ペダルの状態を現在のプリセット位置に保存するには、LEDがブルーになるまでフットスイッチを3秒以上長押しします。



ペダルの現在の状態を任意のプリセット位置に保存するには、本機の現在選択しているMIDIチャンネルでMIDIプログラムチェンジをユニットに送信します。

例えば：

- MIDI Program Change #10を送信して、プリセットをペダルの対応するメモリー位置に保存します。
- 保存したプリセットを呼び出すには、MIDIコントローラーまたはシーケンサーからMIDI Program Change #10を送信します。

## MIDI スペシフィケーション

### MIDI プログラムチェンジ

本機には、0～299まで順番に番号が付けられた300個のプリセットロケーションがあります。MIDIプログラムチェンジメッセージは、最大数128（0-127）であるため、プリセットは3つのMIDIパッチングにグループ分けされます。

### MIDI パッチバンク

**MIDI BANK 0 =** プリセット 0-127

**MIDI BANK 1 =** プリセット 128-255

**MIDI BANK 2 =** プリセット 256-299

**MIDIプログラムチェンジ0** お気に入り設定（ミニスイッチからアクセス可能）（詳しくは[19ページをご覧ください。](#)）

**MIDIプログラムチェンジ1** MultiSwitch Plus フットスイッチ 1

**MIDIプログラムチェンジ2** MultiSwitch Plus フットスイッチ 2

**MIDIプログラムチェンジ3** MultiSwitch Plus フットスイッチ 3

**MIDIプログラムチェンジ127** マニュアルモード（ノブ）

**NOTE :** MIDIアプリケーションやコントローラーの中には、MIDIプログラム・チェンジを0ではなく1から始めるものがあります。このようなセットアップでは、上記のMIDIプログラム・チェンジの位置を1ずつ増やします。

EC-1ペダルは常にMIDIパッチ・バンク0で起動するので、最初の127プリセットにとどまる場合は、標準のMIDIプログラム・チェンジ・メッセージを送るだけでプリセットをコードできます。

MIDIバンク1または2を使用する場合は、各MIDIプログラム・チェンジの前に標準的なMIDIバンク・チェンジ・メッセージ（MIDI CC# 0とMIDIバンク#に等しい値）を送信することをお勧めします。

MIDIバンク0、1、2内でプログラム・チェンジ127を選択すると、EC-1はマニュアル・モードになります。このモードでは、EC-1は現在のノブとスイッチの設定になります。このプリセット位置にはプリセット・データを保存できません。

## MIDI スペシフィケーション（続き）

### MIDI CCs

CC#	PARAMETER	RANGE	ENUMERATION
0	Bank Select	0-2	(0=Bank 1, 1=Bank 2, 3=Bank 3)
11	Rec Level	1-3	(1=low, 2=med, 3=high)
12	Time	0-127	
13	Tape Age	0-127	
14	Repeats	0-127	
15	Mechanics	0-127	
16	Mix	0-127	
17	Preamp Select	0-3	(1=off, 2=modded EP, 3=original EP)
18	Tap Division	0-3	(0=eighth triplet, 1=eighth, 2=dotted eighth, 3=quarter)
19	Preamp Boost	0-127	
27	Footswitch	0,127	(0=release, 1-127=press)
60	MIDI Expression Off/On	0,127	(0=off, 1-127=on)
63	MIDI Clock Off / On	0-127	(0=off, 1-127=on)
93	Tap	0, 127	(any value)
97	Infinite	0, 127	(0=release, 1-127=hold)
100	Expression Pedal	0-127	(0=heel, 127=toe)
102	Bypass/Engage	0, 127	(0=bypass, 1-127=engage)

**NOTE :** すべてのオン/オフパラメーターは、0=オフ、他の値（1～127）=オンとして実装されています。しかし、MIDIコントローラーの多くはオン/オフスイッチとして0と127を送信するため、これらは「0」と「127」として記載されます。

**NOTE :** MIDIアプリケーションやコントローラの中には、MIDI列挙を0ではなく1から始めるものがあります。このようなセットアップでは、上記の数字を1ずつ増やします。

## ファクトリーリセット（工場出荷時の設定へリセットする）

ファクトリーリセットを実行すると、ペダルが工場出荷時のデフォルトのパワーアップ機能に復元され、保存されているすべてのプリセットは工場出荷時のデフォルト設定に置き換えられます。

- ① フットスイッチを2秒以上押し続けながら電源を接続します。  
LEDが**レッド**に点滅したらフットスイッチを離します。



- ② フットスイッチを再度押したままで、**TAPE AGE (FACTORY RESET)** ノブを最小～最大まで2回往復させます。ノブを回し切るあたりでLEDの色が変わり、リセットが行われている際には**レッド**に点滅します。

- TURN1、最小～最大まで：アンバー
- TURN2、最大～最小まで：レッド
- TURN3、最小～最大まで：アンバー
- TURN4、最大～最小まで：すぐにフットスイッチを離します。LEDが**レッド**に点滅し、本機がリセットされて再起動します。

## ファクトリーリセット（続き）

### ファクトリー・デフォルト・セッティング

FEATURE	FACTORY DEFAULT SETTING
Bypass Mode:	True Bypass
Spillover Mode:	Off
Dry Signal:	Digital
LED Brightness:	Maximum
EXP/MIDI Jack:	Assigned to Expression Mode and configured to control the <b>MIX</b> knob
MIDI Channel:	1
MIDI OUT Mode:	Off
MIDI Expression:	On

## 主な特徴

- シングル・スライディング録音ヘッドのテープ・エコー・システムを細心の注意を払って再現した dTape アルゴリズムを採用
- 劣化するにつれて周波数帯域幅がより制限される、摩耗したテープの音響的影響をエミュレートしたテープ エイジ コントロール
- 調整可能なMechanicsコントロールにより、新品のテープのリピートから摩耗して揺らぐアーティファクトまであらゆる現象を再現します。
- Low、Medium、High の選択可能なレコードレベルモードにより、クリーンからサチュレートしたディレイリピートを再現します。
- 選択可能な4つのタップテンポ音符分割 (3連符、8分音符、付点8分音符、4分音符)
- プリアンプ オプションにより、ドライ信号にヴィンテージ テープ マシンのチューブ プリアンプ エミュレーションを提供。ブースト レベルも調整可能です。
- アナログドライパスオプションは、デジタルに変換されないゼロレイテンシーのドライ信号を提供します。
- ドライ信号をミュートし、ウェット信号のみを制御する Kill Dryモード
- ステレオ入出力のトゥルーステレオ (非TRS機器の接続は、各ジャックに別売りの「TRS - デュアル TS」アダプターまたはケーブルが必要)
- トゥルーバイパス (エレクトロメカニカル リレースイッチング)
- TRS エクスプレッション・ペダル接続用のエクスプレッション・ペダル入力、Strymon MiniSwitch または MultiSwitch Plus、または TRS MIDIの接続が可能
- ハイインピーダンス、超低ノイズのディスクリート Class A JFET、TRS ステレオプリアンプ入力
- フルMIDI 機能 (双向連続コントローラー & プログラムチェンジメッセージと 300 プリセット)
- ファームウェアアップデート用USB-Cジャック
- +10dBu最大入力レベルで両楽器やラインレベル信号での使用が可能
- 高性能520MHz ARM Superscalarプロセッサー
- 32ビット浮動小数点処理
- 超低ノイズ、高性能 A/D および D/A コンバーター
- 堅牢軽量なアルミシャーシ
- Designed and built in the USA

## スペシフィケーション

---

入力インピーダンス	1 Meg Ohm
出力インピーダンス	100 Ohm
A/D & D/A	24-bit 96kHz
最大入力レベル	+10 dBu
S/N	116 dB typical
バイパススイッチング	トゥルーバイパス(リレースイッチング)
サイズ	(D) 11.4 cm x (W) 4.3 cm x (H) 5.6 cm

### 電源アダプター規格

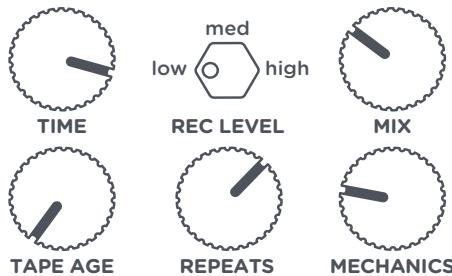
9VDCセンターマイナス、250mA以上のアダプターを使用してください。9Vより高い電圧の電源に接続しないでください。アダプターは付属されていませんので、別途ご購入ください。

## Appendix 1 : サンプルセッティング

## サンプルセッティング

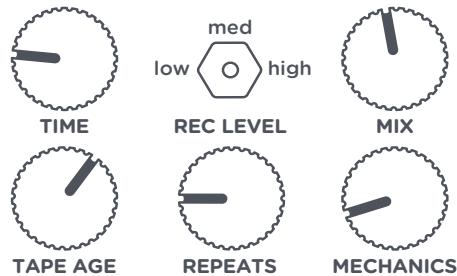
以下に、開始するためのサンプル設定を示します。これらは工場出荷時のプリセットとしても保存され、示されているように MIDI プログラム チェンジまたは MultiSwitch Plus 経由でアクセスできます。

### Clean Machine



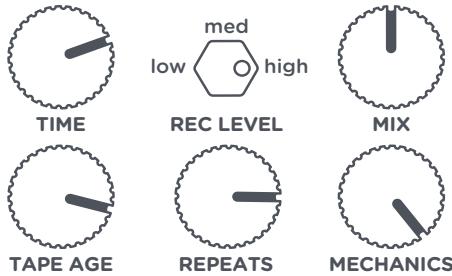
MIDI Program Change 0  
MiniSwitch Favorite

### Bounce



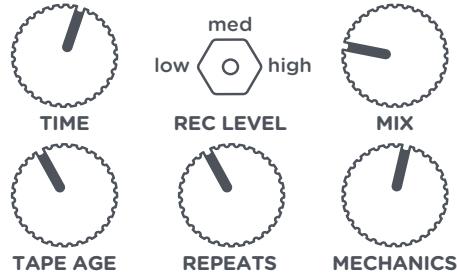
MIDI Program Change 1  
MultiSwitch Plus A

### Service Required



MIDI Program Change 2  
MultiSwitch Plus B

### Hands Solo



MIDI Program Change 3  
MultiSwitch Plus C

**NOTE :**これらのファクトリープリセットは、すべてライブエディット機能のデフォルト設定で保存されます（[9ページ](#)参照）。

## Appendix 2 : パワーアップモード クイックリファレンス

## パワーアップモード - クイックリファレンス

グローバルパラメーターとその機能には、電源投入手順によってアクセスできます。すべてのパワーアップ機能は、電源を入れ直しても維持されます。

- ① フットスイッチを2秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。  
LEDが**レッド**に点滅したらフットスイッチを離します。
- ② 以下のコントロールで必要な機能を調整します。
- ③ フットスイッチを押して変更を保存し、パワーアップモードを終了します。

POWER UP MODE	OPTIONS
<b>バイパスモード</b> <b>モノI/O</b> 図を用いた説明は <a href="#">11ページ</a> をご覧ください	<b>REC LEVEL</b> スイッチをセットして行います。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• トゥルーバイパス：スイッチ <b>low</b>（左の位置）または <b>mid</b>（センター）ポジション LED <b>グリーン</b>（デフォルト設定）</li> <li>• バッファードバイパス：スイッチ <b>high</b>（右）ポジション LED <b>レッド</b></li> </ul>
<b>スピルオーバーモード</b> 図を用いた説明は <a href="#">12ページ</a> をご覧ください	<b>MECHANICS</b> ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• オフ：<b>アンバー</b>（デフォルト設定、最小位置）</li> <li>• オン：<b>ペープル</b>（最大位置）</li> </ul>
<b>ドライ信号</b> 図を用いた説明は <a href="#">13ページ</a> をご覧ください	<b>REPEATS</b> ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• デジタル：<b>グリーン</b>（デフォルト設定、最小位置）</li> <li>• アナログ：<b>レッド</b>（12時の位置）</li> <li>• キルドライ：<b>ブルー</b>（最大位置）</li> </ul>
<b>LED 輝度</b> 図を用いた説明は <a href="#">14ページ</a> をご覧ください	もう一度フットスイッチを長押しして <b>MECHANICS</b> を回すと LED の輝度が調整できます。
<b>EXP/MIDI ジャックモード</b> 図を用いた説明は <a href="#">15ページ</a> をご覧ください	<b>MIX</b> ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Expression/ エクスプレッション：</b><b>グリーン</b>（デフォルト設定、最小位置）</li> <li>• <b>Favorite/ フェイバリット：</b><b>アンバー</b>（11時の位置）</li> <li>• <b>Tap/ タップ：</b><b>レッド</b>（12時の位置）</li> <li>• <b>Infinite/ インフィニティ：</b><b>ペープル</b>（2時の位置）</li> <li>• <b>MIDI：</b><b>ブルー</b>（最大位置）</li> </ul>

## パワーアップモード - クイックリファレンス（続き）

POWER UP MODE	OPTIONS
<b>MIDI チャンネル</b> 図を用いた説明は <a href="#">30 ページ</a> をご覧ください	<b>TIME</b> ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 1 : <b>グリーン</b> (デフォルト設定、最小位置)</li><li>• 2 : <b>アンバー</b> (10 時の位置)</li><li>• 3 : <b>レッド</b> (12 時の位置)</li><li>• 4 - 16: <b>ブルー</b> (最大位置、次に受信した MIDI プログラムチェンジメッセージによって設定されたチャンネル。)</li></ul>
<b>MIDI OUT モード</b> 図を用いた説明は <a href="#">32 ページ</a> をご覧ください	<b>TAPE AGE</b> ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスが LED で点滅表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• OFF : <b>レッド</b> (デフォルト設定、最小位置)</li><li>• THRU : <b>ブルー</b> (11 時の位置)</li><li>• ON CC, OTHER : <b>グリーン</b> (1 時の位置)</li><li>• ON OTHER : <b>アンバー</b> (最大位置)</li></ul>
<b>ファクトリーリセット</b> 図を用いた説明は <a href="#">36 ページ</a> をご覧ください	フットスイッチを押したまま、 <b>TAPE AGE</b> ノブを 0% から 100% まで 2 回戻します。LED にステータスが表示されます。

**NOTE :** プリセット毎にペダルの機能を設定する場合は、[16ページ](#)の「エクスプレッションペダルのセットアップ」をご覧ください。

## Appendix 3 : ライブエディット機能 クイックリファレンス

## ライブエディット機能 - クイックリファレンス

本機は2つのセカンダリー機能を調整する方法を提供します([9ページ](#)の「ライブ編集機能」も参照)。これらの設定は、お気に入りまたはMIDIプリセットごとに保存されます。

- ① ON フットスイッチを押したまま、フットスイッチを押したまま1秒以内に目的のライブ編集機能のノブを回します。(ノブを回さずにスイッチを1秒以上押し続けるとTAPモードになります。)
- ② 本機の使用に戻る選択を行ったらフットスイッチを放します。

FUNCTION	DESCRIPTION
プリアンプセレクト 図を用いた説明は <a href="#">9ページ</a> をご覧ください	<b>REPEATS</b> ノブを回して希望のプリアンプオプションを選択します。ステータスがLEDに一時的に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>オフ : レッド</b> プリアンプはバイパスされます。</li><li>• <b>Modded Tube Preamp : アンバー</b> (デフォルト) は、変更されたチューブプリアンプ回路(デフォルト設定)を有効にします。</li><li>• <b>オリジナルのチューブプリアンプ : グリーン</b> はオリジナルのチューブプリアンプ回路を有効にします。</li></ul>
プリアンプブースト 図を用いた説明は <a href="#">10ページ</a> をご覧ください	<b>NOTE :</b> チューブプリアンプのレベル調整については、次のプリアンプブースト機能を参照してください

**NOTE :** チューブプリアンプのレベル調整については、次のプリアンプブースト機能を参照してください

**プリアンプブースト** **MIX** ノブを回して、モッドまたはオリジナルのチューブプリアンプ(前述のプリアンプ選択機能で有効になっている場合)に適用されるブースト量を 0dB(ユニティゲイン、デフォルト設定)から +6dBまで調整します。

## 使用上のご注意

### ▲警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり、煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

### ▲警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

## Strymon 限定保証（譲渡不可）に関する規定

### 保証について

Strymon は、正規 Strymon ディーラーから購入された場合、その製品と製品中のコンポーネントが、購入日から次の期間、材質および製造上の欠陥がないことを保証します。

#### 製品保証が 1 年間となる製品

第一世代のペダル・・・ blueSky、El Capistan、Flint、Lex、Deco、DIG  
Brigadier、OB.1、Ola、Orbit、TimeLine、Mobius、BigSky

#### 製品保証が 2 年間となる製品

上記以外のエフェクトペダル、ユーロラックモジュール、パワーサプライ製品、MIDI インターフェイス  
※ 付属品のパワーサプライ、および、MIDI ケーブルアクセサリーについては、初期不良の場合のみ製品保証を適応させていただきます。

保証期間内に製品が故障した場合、Strymon 日本総代理店株式会社 HotoneJapan が、最初の購入者に限り無償で修理、または当社の裁量により製品を交換いたします。また、本保証を最初の購入者以外へ譲渡することは出来ません。

### 免責事項

この保証は、ユーザーマニュアルに記載されている推奨の使用方法に従って、Strymon 製品を使用中に発見された製造上の欠陥を対象とします。この保証は紛失や盗難には適用されません。また、誤用、不正な改造、不適切な保管、落雷、または自然災害によって引き起こされた損害にも適用されません。上記の状況によって生じた損傷は、保証対象外の修理料金が発生する場合があります。

非正規販売店や海外から購入された製品は、この保証の対象外となります。保証は譲渡不可であり、中古品または譲渡された製品には適用されません。

### 保証範囲

故障の場合は、前項の通り、修理または交換の対応のみとなります。株式会社 HotoneJapan は、本製品の故障に起因するいかなる損害に対しても一切の責任を負いかねます。保証外の損害には、逸失利益、逸失貯蓄、他の機器への損害、および本製品の使用または使用不能から生じる付随的または派生的損害等が含まれますが、この限りではありません。いかなる場合においても、当社は、製品の市場想定価格を超えない範囲で保証対応し、それを超える保証に関する責任を負いません。